

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

1 事業名：産学官連携による美作地域産農産物の普及に係る新商品開発・情報発信

2 実施団体：地域商社つやまエリア 株式会社曲辰

3 担当課：美作県民局 美作広域農業普及指導センター

4 事業概要

- ・弊社が美作大学と連携することで、大学生には農業生産者を訪問し実際に農場を見学して栽培の苦労や喜びを理解してもらってから、美作地域産の農産物を使ったジャムやパン用のフィリングの商品開発や産地のPR等の検討に取り組んでもらう。
- ・パンとともにジャムやフィリングの販路開拓・拡大を図ることで、その原材料の産地PRを行っていく。

5 実施内容

- ① 株式会社曲辰と美作広域農業普及センターによる連携先（美作大学・津山東高校）との打合せの実施
- ② 連携先との農業生産者訪問
- ③ 地域産農産物を使った新商品開発
- ④ 東京ビッグサイトでの試食・アンケートの実施
- ⑤ 商品化に向けてラベルデザイン、容器等の検討
- ⑥ 津山産小麦のPR及び、津山産小麦を使っているパン屋さんマップをホームページに掲載



美作大学打合せ



津山東高校打合せ



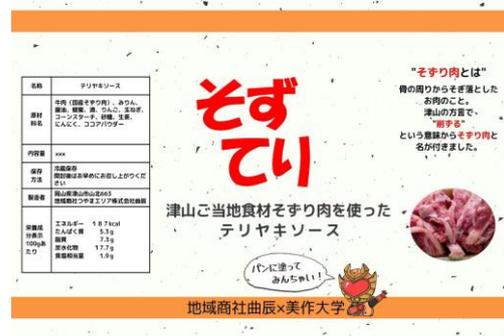
農業生産者訪問(東高校)



新商品試作(美作大学)



東京ビッグサイト試食・アンケート実施



新商品容器・ラベルデザインの検討

6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

- ① 学生は地域産食材として多くの美味しい食材があることや、農業生産者の苦労やこだわりを知ることができ、地元に対する愛着も感じてもらった。
- ② 地域産農産物を使った新商品ができたことで、生産者のモチベーションが向上し、売上の増加の期待も出てきている。
- ③ 津山産小麦やそれを使ったパンの紹介やパン屋マップをホームページに掲載したことから、今まで以上にPRできるようになった。
- ④ 地元食材を使った商品の売上増加が図れる。

(2) 今後の課題

- ① 完成した新商品の販路開拓・販路拡大を図る。
- ② 商品のブラッシュアップを進め、津山産小麦を使ったパンとともに広くPRしていく。

7 県民局と連携した効果及び課題

- ① 美作県民局美作広域農業普及指導センターと連携することで、津山東高校及び美作大学とも連携がスムーズに行えた。
- ② 連携することで事業自体の信頼性が向上し、農業者ともスムーズな連携活動が行えた。